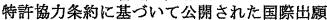
## 世界知的所有権機関

## 国際事務局





(51) 国際特許分類6 C08G 18/10, 18/65, 18/32 A1 (43) 国際公開日 1995年10月5日(05.10.95)

(21) 国際出願番号 (22) 国際出願日 PCT/JP95/00528

1995年3月22日(22.03.95)

(30) 優先権データ

特額平6/57059

1994年3月28日(28.03.94)

JP

(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) サンスター技研株式会社

(SUNSTAR GIKEN KABUSHIKI KAISHA)[JP/JP]

〒569 大阪府高槻市明田町7番1号 Osaka, (JP)

(72) 発明者;および

(75) 発明者/出願人(米国についてのみ)

前田信彦(MAEDA, Nobuhiko)[JP/JP]

〒660 兵庫県尼崎市稲葉元町1-7-21-403 Hyogo, (JP)

奥野辰弥(OKUNO. Tatsuya)[JP/JP]

〒520-30 滋賀県東上都栗東町下戸山1590-4 Shiga, (JP)

服部善哉(HATTOK』、Yoshiya)[JP/JP]

〒610-11 京都府京都市西京区大原野西境谷町2-9-22-504

Kyoto, (JP)

後藤錠志(GOTO, Joji)[JP/JP]

〒663 兵庫県西宮市上鳴尾町22-2 Hyogo, (JP)

(74) 代理人

弁理士 青山 葆,外(AOYAMA, Tamotsu et al.) 〒540 大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号

IMPビル 青山特許事務所 Osaka, (JP)

(81) 指定国

JP, US, 欧州特許(AT, BE, CH, DE, DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE).

添付公開書類

国際調査報告書

## (54) Title: THERMOSETTING COMPOSITION

(54) 発明の名称 加熱硬化性組成物

## (57) Abstract

A thermosetting composition combining excellent storage stability with cold curability and comprising (A) a polyisocyanate compound or/and an active-isocyanate-terminated urethane prepolymer prepared by the reaction of a polyol component with an excessive polyisocyanate compound and (B) a solid amine having a melting point of 50  $^{\circ}$ C or above, a median particle diameter of 20  $\mu$ m or less and active surface amino groups covered by a fine powder having a median particle diameter of 2  $\mu$ m or less and active surface amino groups covered by a fine powder having a median particle diameter of 2  $\mu$ m or less, the weight ratio of the amine to the powder being 1/0.001-0.5.

. 1 . 1 径の微粉体を特定割合で固着させて、表面の活性アミノ基を被覆しておけば、イソシアネート成分である末端活性イソシアネート基合有ウレタンプレポリマーに安定状態で容易に分散して優れた貯蔵安定性を得ることができ、また加熱硬化に際しても、表面被覆された固形アミン化合物が加熱溶融によって、活性アミノ基を生成し、たとえば60~100℃×10分の低温条件で硬化を起こすことができ、しかもイソシアネート成分として末端活性イソシアネート基合有ウレタンプレポリマーに代えてまたは併用してポリイソシアネート化合物そのものを使用しうることを見出し、本発明を完成させるに至った。

すなわち、本発明は、(A)ポリイソシアネート化合物と、ポリオール成分に過剰量のポリイソシアネート化合物を反応させて得られる末端活性イソシアネート基合有ウレタンプレポリマーのそれぞれ単独またはそれらの混合物;および(B)融点 50  $^{\circ}$   $^{\circ$ 

本発明における上記ポリイソシアネート化合物としては、芳香族、脂肪族または脂環族に属する任意のものが使用されてよく、たとえばトリレンジイソシアネート(TDI)、ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)、3,3'ージメチルー4,4'ービフェニレンジイソシアネート、1,4ーフェニレンジイソシアネート、キシリレンジイソシアネート、テトラメチルキシリレンジイソシアネート、ナフチレンジイソシアネート、ジシクロヘキシルメタンー4,4'ージイソシアネート、粗製TDI、ポリメチレン・ポリフェニルイソシアネート、イソホロンジイソシアネート、ヘキサメチレ